

令和3（2021）年度 自己評価表

学校教育目標		中・長期的目標									
「永えに地域のシンボルたれ」をモットーに、平和的な社会の創造者としての自主・自立の精神に満ちた資質を培う。		(1) 自主性・協調性を培い、自ら学び自ら考える力を伸ばす。									
		(2) 一人ひとりを大切にし合い、夢や希望を育み、個性を伸ばす。									
		(3) 地域の信頼を担い、心豊かでたくましく生き抜く力をつける。									
		今年度の重点目標									
		① 自らが希望する進路を実現するための学力向上の取り組みと進路指導の充実									
		② いじめ・暴力を許さない、一人ひとりの人格を尊重した生徒指導の堅持									
		今年度の総合評価 A B C D									
	評価の観点	分掌	成果と課題	改善・向上策など	A	B	C	D			
教育内容	進路指導・キャリア教育	重点目標①	生徒の実態を把握し、授業内容を工夫して主体的に学習意欲を喚起できたか。	教科	生徒の実態に合わせ、基礎的・復習的な内容を扱うとともに、内容の精選や工夫、習熟度授業を行った。また、話し合いの場を設定するなど、自主性を引き出す工夫を行った。	学びそのものに対する興味・関心を高める必要があると考える。また、内容のさらなる精選と、生徒間と教員と生徒間での声かけを重視する必要がある。	6%	94%	0%	0%	
		生徒の主体性を尊重しつつ進路実現のためにきめ細かく計画的な進路指導が指導ができたか。	進路	学年を中心にガイダンス等を開催し、進路意識の向上に努めた。年末の段階で、それぞれの進路をほぼ決めることができた。	基礎学力不足が懸念される生徒に対し、補習等の対策を講じながら学力向上をさらに目指したい。	6%	82%	12%	0%		
		それぞれの学年・教科でキャリア教育の充実を図り、勤労観、職業観を促す指導ができたか。	教科 進路	グローバルな視野の育成や、自己の適性・関心と向き合う機会をつくるよう努めた。学年を中心にキャリア教育を行い、様々なガイダンスを通じて「働く」意識の向上に努めた。	体験や実習を座学の内容につなげていく。また、より現実的な例示のあるガイダンスや体験などを通して、「働く」ことに対する意識の向上を図りたい。	18%	76%	6%	0%		
		生徒育成方針5)「在り方生き方を主体的に模索し粘り強く取り組む力」がつくような取り組みを行えたか。	進路	進路活動に際し、時間をしっかり取りながらきちんとした計画と対策を立てるよう指導を行ってきた一方で、計画性を持たせることへの困難さを感じる。	就職・進学についての進路意識を持てるよう、より具体的にイメージできる内容のガイダンス等を行う。また、最後まできちんと行うよう支援する。	6%	71%	23%	0%		
	教育課程・コース制	重点目標③	3年間を見通した学習計画を立て、各コースの特色を生かした授業を行うことができたか。	教科 コース会	コースに特化した授業や専門科目ではコースの特色を生かした授業が行えている。また、卒業後の進路や資格取得を見据え、継続的な指導、必要な模試や補習を行うよう努力した。	コース再編を踏まえた3年間の学習計画の見直しや、早めの個別指導を行い、1年生の段階から将来の展望を持たせ、コース選択のミスマッチを防止する。	18%	64%	18%	0%	
		図書館やICTを活用して、多様な教育活動や探究的学びを実践することができたか。	教科 図書館 情報	授業内外の多様な場面で、必要に応じてICTや図書館を効果的・積極的に活用できた。オンライン授業でも通常授業と同様の学習効果を目指し、様々なツールを組み合わせる工夫をした。	評価も含めて授業全体を見直す必要がある。タブレット端末の利用方法を工夫し、書くことの重要性とバランスマも大切にしていきたい。	47%	47%	6%	0%		
		生徒育成方針2)「課題に対して主体的・対話的・協働的に解決する力」がつくような取り組みを行えたか。	教科	テーマ設定グループワークやレポート課題、発表などを通して、課題解決に向けて考え努力する機会を設けた。グループ活動では、主体的に行動できる生徒が全て進んでしまうことがある。	一人で取り組む時間と仲間と活動する時間とのメリハリ、グループ活動が苦手な生徒への支援、中心となる生徒が周りを見る力を受ける取り組みが必要である。	23%	65%	12%	0%		
		生徒育成方針5)「在り方生き方を主体的に模索し粘り強く取り組む力」がつくような取り組みを行えたか。	教科 学習企画	考え抜いて自分の言葉にする課題の設定、導入での意識づけ、校外活動で関わった方の生き方や指導から考える活動などを行った。課題に最後まで諦めず取り組むよう継続的に指導した。	職員が生徒の学習成果を的確に捉えて指導の改善を図ることで、生徒が自らの学習を振り返り、次の学習に向かえるようにする。	6%	71%	23%	0%		
		生徒指導	重点目標②	生徒の身近な問題の実態を把握し、有効な指導と啓発を行うことができたか。	生活指導 保健生徒相談	授業や課外活動など様々な場面において、職員が積極的に生徒とコミュニケーションを取ることを中心とした。また、感染症対策の周知と環境整備ができた。	正副担任や生活指導係だけでなく、学校全体としての生徒指導や、特別支援などとの連携がより必要になっていく。また、感染対策の啓発にさらに努めたい。	19%	75%	6%	0%
			生徒の心身の健康の実態を把握し、保護者や外部機関と連携しつつ解決のための適切な支援や配慮ができたか。	保健生徒相談	相談活動やアセスを通して実態把握し、必要に応じて外部機関と連携し支援に努めた。	今後も外部機関に相談や連携をしながら、適切な支援を探りたい。	25%	75%	0%	0%	
生徒育成方針1)「多様性を尊重し他者と個性を認め合うコミュニケーション力」がつくような取り組みを行えたか。	生活指導		スマホ安全教室、SNSとの付き合い方、憲法学習、平和人権教育、薬物乱用防止教室などを計画通り行うことができた。	スマホやSNSとの付き合い方などは、早い段階での指導を心掛け、学校全体で対応していく。	6%	88%	6%	0%			
生徒育成方針4)「安心安全な学校づくりに協力できる力」がつくような取り組みを行えたか。	生活指導		学校は安心安全な場所であるだけでなく常に呼びかけ、問題行動が発生したときにはすぐに職員間で情報共有を行い、職員全体で生徒指導に取り組んだ。	職員間での情報共有を常に行い、開発的・予防的な生徒指導を心がけ、より丁寧な指導を意識して行っていく。	25%	75%	0%	0%			
生徒会活動	重点目標④	生徒の能力や個性を伸ばしながら、社会人として必要な資質の向上をはかることができたか。	生徒会 顧問会	執行部を中心に、行事の企画・運営に向けよく準備ができていた。委員会のクラス単位の活動にばらつきがあるため、伝え方を重点的に指導する必要がある。	執行部の中だけでなんとかしようという傾向が強いため、全校生徒に協力してもらうためにはどうしたらよいかを考えていく必要がある。	19%	75%	6%	0%		
	部活動を活性化し、充実した活動につなげるために環境を整備することができたか。	顧問会	生徒数の減少、公共交通機関の事情等が活性化の妨げになっている。部員のいるクラブでも活動が滞っているところがあり、活性化させるための工夫が必要である。	障壁を超えて活動に励む生徒たちを応援できる手段を模索したい。生徒の希望や目標に合わせて方針を定め恒常的に活動できるように指導する。	13%	50%	37%	0%			
	生徒育成方針2)「課題に対して主体的・対話的・協働的に解決する力」がつくような取り組みを行えたか。	生徒会 顧問会	他校との交流会などを通して、自分たちの学校の様子を伝え合うだけでなく、生徒自身が感じている課題の解決に向けて様々な意見を交わす姿が見られた。	全校生徒からの意見を集約する方法を検討していく。	19%	81%	0%	0%			
	生徒育成方針1)「多様性を尊重し他者と個性を認め合うコミュニケーション力」がつくような取り組みを行えたか。	生徒会 顧問会	朝の挨拶当番を継続して行い、生徒同士で挨拶を交わすことができた。文化祭におけるクラス・学年企画やクラブ発表を通して、1人ひとりの活躍の場を設けることができた。	関わりの少ない他学年や他クラスが円滑に協力し合えるよう、執行部を中心に検討していく。	25%	75%	0%	0%			
開かれた学校づくり	重点目標⑤	地域と連携し地域文化への理解を深めて、探究的な学びを充実させることができたか。	教科	地域文化（地域探究）コースや選択科目では、地域理解を深める内容を扱ったが、一般科目では困難もある。分野の現状や課題点を理解し、高校生として何ができるか考えさせた。	生徒が自ら地域とのつながりを考える場面を増やすこと、探究的な学びの授業でも年間計画や評価規準を明確にすることが必要である。	53%	41%	6%	0%		
	授業公開やホームページ、会報、広報などを通じて、学校の活動内容を地域に積極的に発信することができたか。	庶務	授業公開は、5月・10月はコロナ禍で中止となったが、12月に実施した。ホームページをリニューアルし、多様な情報を見やすく公開することができた。	授業公開は、環境的に可能な限り、地域の方々にも公開していきたい。多数行っている地域の方と触れ合う活動を、さらに地域に発信していきたい。	31%	56%	13%	0%			
	PTA、地区懇談会、教育懇談会、学校評議員会などを活用して、保護者や地域との結びつきを深めることができたか。	庶務 渉外	近隣中学校の生徒と本校生徒がオンラインで交流する機会を設けたり、評議員会での授業公開や生徒の発表を行ったりした。環境整美事業では多くの保護者・生徒に参加していただいた。	保護者の方々には本校の活動をより知ってもらう活動ができるといい。環境整美授業は非常に良い雰囲気で行われているので、規模の拡大も考えていきたい。	0%	81%	19%	0%			
	生徒育成方針3)「地域への愛着心を涵養し地域へ貢献できる力」がつくような取り組みを行えたか。	教科	地域文化（地域探究）コースや選択科目では、地域理解や地域の方々からの学びを題材にできたが、一般科目では工夫が必要である。実習を通し、生徒が生活する場所での就職・進学につなげることができた。	取り組みの定義をはっきりさせる必要がある。また、地域への愛着心を涵養するにはどのような取り組みを行うか、考える必要がある。	18%	59%	23%	0%			